

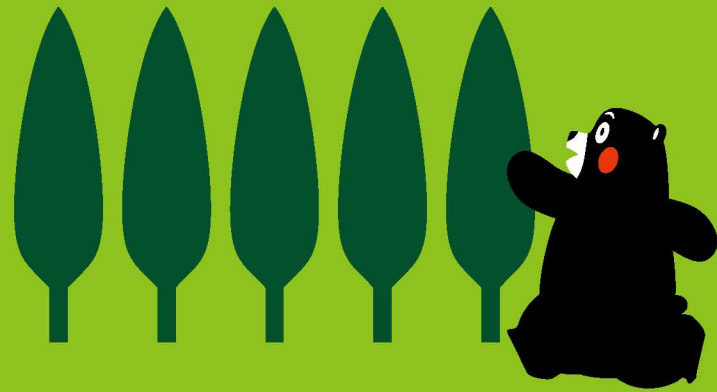
やまの
せいくらべ



よいこの
くまモン劇場

やまの
せいくらべ

かみしばいをぬく



あるひのことです。

ぼかぼかしたいいいおてんきだったので くまモンはおにぎりをもって そとへでかけました。

のんびりあるいていると たいようがくまモンにはなしかけてきました。

たいよう「やあくまモン どこかに おでかけかい？」

くまモン「そうだモン おにぎりをもって ピクニックに行くんだモン」

たいよう「それなら ちょうどこのさきにやまがあるよ

やまのてっぺんでたべるおにぎりは きっとおいしいだろうね」

くまモン「わあ そうするモン! サンくま」…………… ※サンくま=くまモン語で「ありがとう」のこと

たいようにおれいをいって くまモンはやまにむかいました。

くまモン「あつた あつた ここだモン」

はんぶんまで めいて

それはいいださんというやまでした。いいださんは

いいださん「やあ くまモン よくきたね さあ どうぞのぼって のぼって!」

と げんきなこえで くまモンをさそいました。

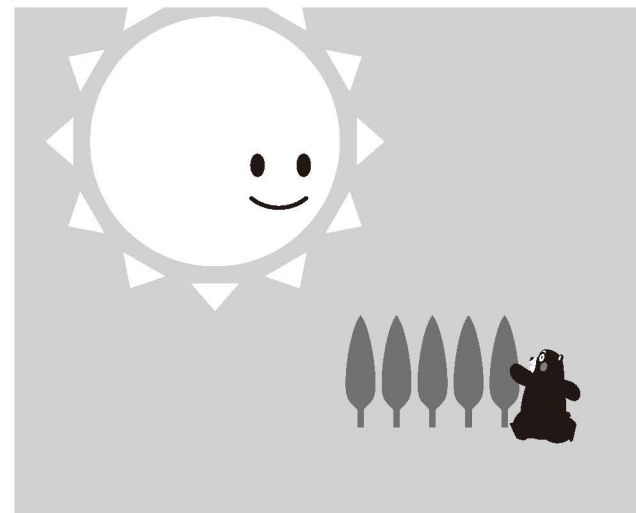
くまモンは やまにのぼろうとしましたが…。

きんぼうざん「くまモン ちょっとまって…」

どこからか ちいさなこえがしました。

くまモンがきよろきよるとあたりをみまわすと…

ぬく





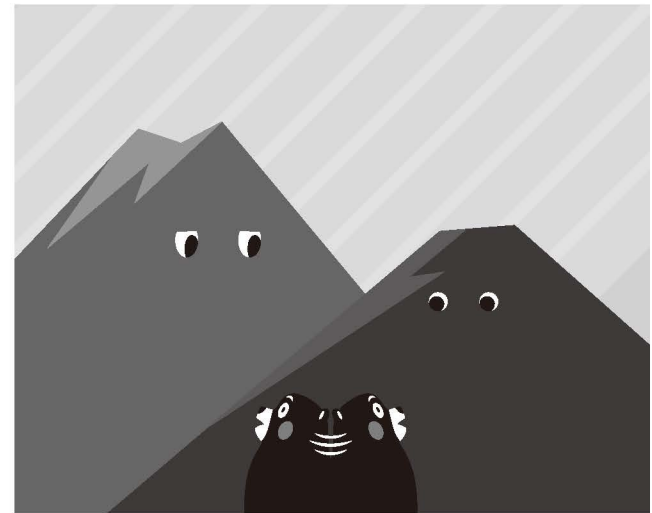
のぼろうとしたやまのむこうに もうひとつ
おおきなやまがあることに きがりました。
きんぼうざんというなまえのやまです。

くまモン「ああ びっくりしたモン! どうしたのかモン？」

きんぼうざん「あの…できれば…どうせのぼるなら わたしのほうにのぼってほしいんです」

と きんぼうざんは ささやくようなこえで いいました。
すると いいださんが キッとおおきなやまをにらみました。

ぬく





いいさん「ちょっと! くまモンは わたしのほうにのぼろうとしたんだから よこどりしないでよ!」

きんぼうざん「でも わたしにのぼったほうが たのしいとおもうんです おおきいですし…」

いいさん「なにってんの あなたなんて なんのおもしろみもない ただでかいだけのやまじゃない!」

きんぼうざん「それをいうならあなただって なんのとくちょうもない
いせいだけがいいだけの ちいさなやまじゃないですか…」

くまモン「ちょっと ちょっと けんかはやめてだモン!」

くまモンはけんかをとめにはいりました。

くまモン「ねえ いいさんときんぼうざん りょうほうにのぼるから けんかしないでほしいモン」

すると ふたつのやまはかおをみあわせて

いいさん「それなら ちょうどいい!

くまモン どちらのやまのほうがたのしかったか のぼったあとに おしえてよ」

きんぼうざん「そうですね どちらがくまもとでいちばんのやまか くまモンにきめてもらいましょう」

くまモンは もっとたのしくやまのほりをしたかったのですが しぶしぶうなずきました。

とちゅうまで ぬいて

くまモンはまず ちいさないいさんにのぼりました。

いいさん「ねえくまモン はるだから いろんなおはながさいているでしょう」

くまモン「ほんとうだモン はじめてみる おはなが たくさんあるモン」

いいさん「このおはなは わたしのやまでしかみられないんだよ」

くまモン「そうなのかモン あ、これはなんだモン?」

いいさん「ああ それはねー」

ゆっくり ぬいて





いいださん「きょうりゅうのあしあとだよ」

くまモン「きょうりゅう?」

いいださん「そうそう きょうりゅうのあしあとの かせきだよ」

くまモン「うわあ きょうりゅうのかせきなんて はじめてみたモン!」

くまモンはいいださんと たのしくおしゃべりをしながら
にぎやかに のぼっていきました。

つづいてくまモンは おおきなきんぼうさんに のぼりました。

とちゅうまで ぬいて

ていねいなあんないをしてくれた いいださんとちがって
きんぼうさんは ただただ だまっています。
そのかわりにくまモンは やまのきれいなくうきを
たくさんすいながら ゆっくりとのぼっていきました。

そしてのぼりきったとき――

すばやく ぬいて





くまモンのめにとびこんできたのは たいようのひかりをうけて
きらきらとかがやく おおきなあまくさのうみでした。

イルカたちが ゆかいなダンスをしていて
そらをとぶとりたちは イルカのダンスをみると はねをばたばたさせて はくしゅをしました。

くまモン「わあ すごいモン! すごくきれいだモン」

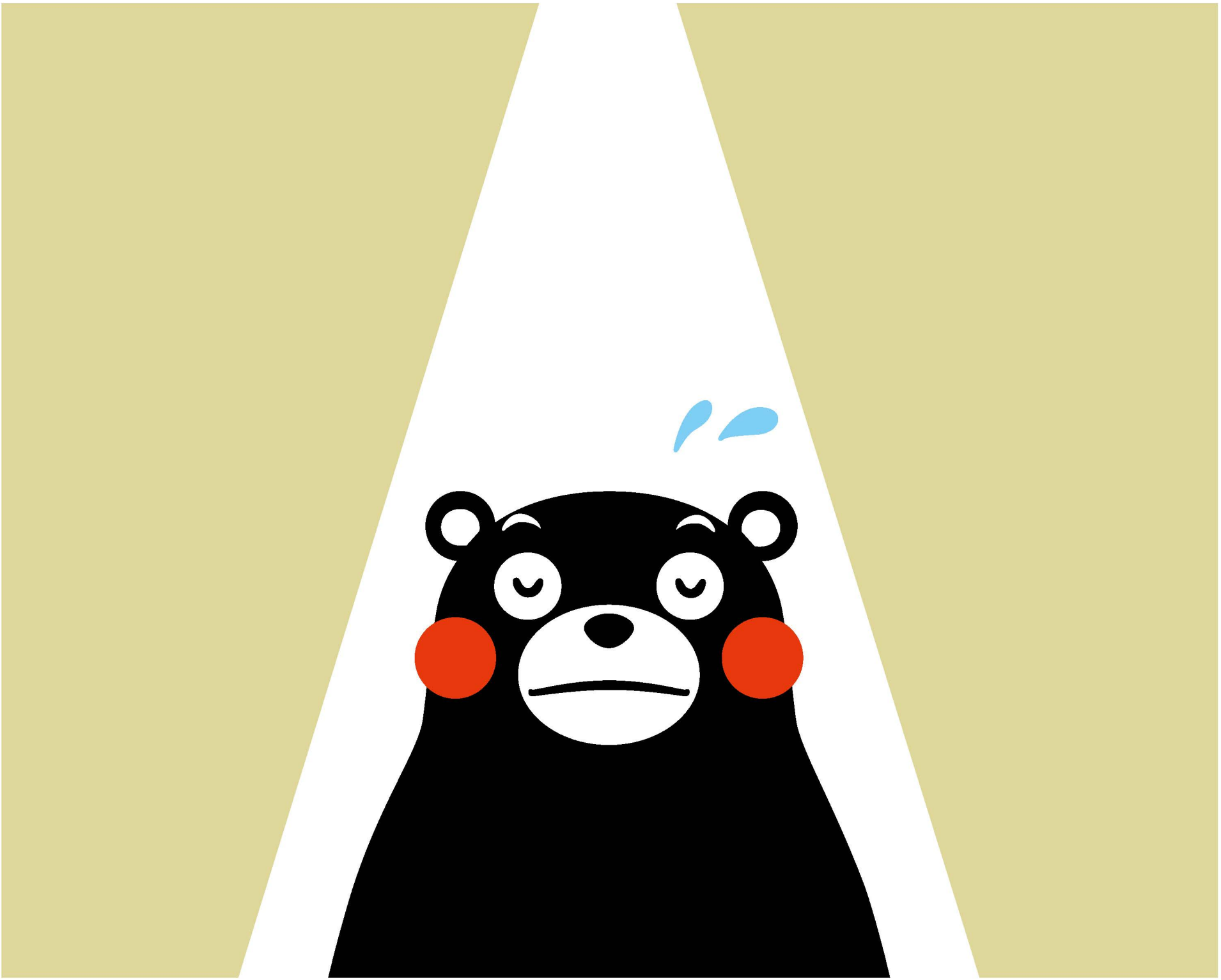
おもわず くまモンがそういと きんぼうさんは てれたように

きんぼうさん「ありがとう」

といました。

ぬく





さて くまモンはやまをおりました。

いいさん「ねえくまモン たのしかったのは どちらのやま?」

くまモンは うでぐみをしてかながえこんでしまいました。

このおはなしをきいているみなさん。

くまモンは どちらのやまがたのしかったとおもいますか?

こどもたちの反応をまって

そうです どちらのやまも それぞれ とてもとてもたのしかったのです。

ふたつのやまは くまモンにくいぐいとせまります。

いいさん「ねえくまモン どちらがくまもとでいちばんのやまか きめた?」

きんぼうざん「さあ くまモン えらんでください」

いいさん「ねえくまモン」

きんぼうざん「くまモン」

いいさん「くまモン」

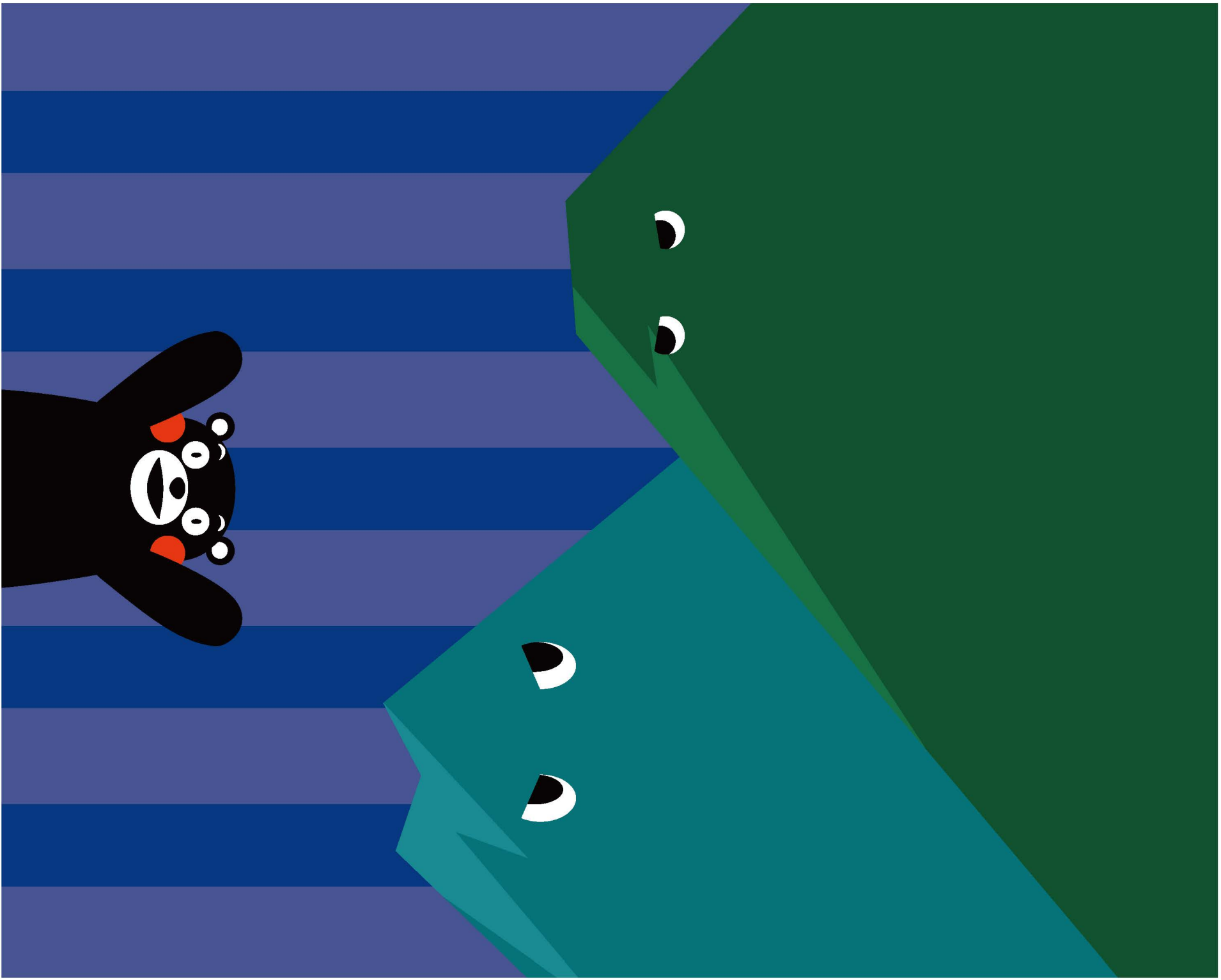
きんぼうざん「くまモン」

くまモンは こういいました。

くまモン「うーん きめられないモン」

ぬく





くまモンのこたえをきいた いいださんと きんぼうさんは とてもふまんそうです。

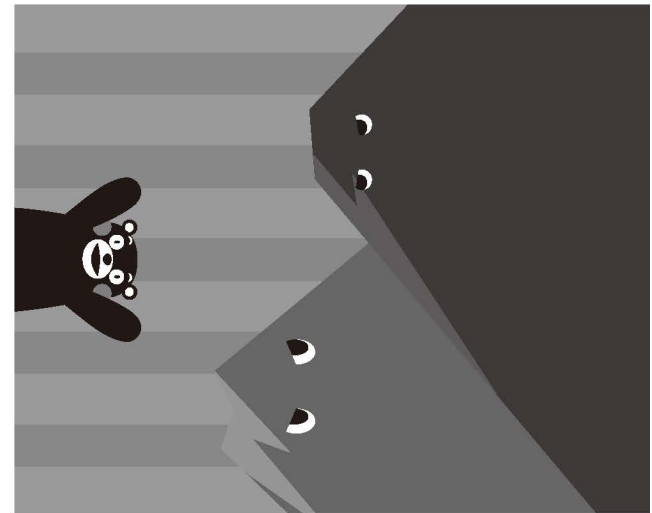
いいださん「なんだよくまモン そんなのずるいよ」

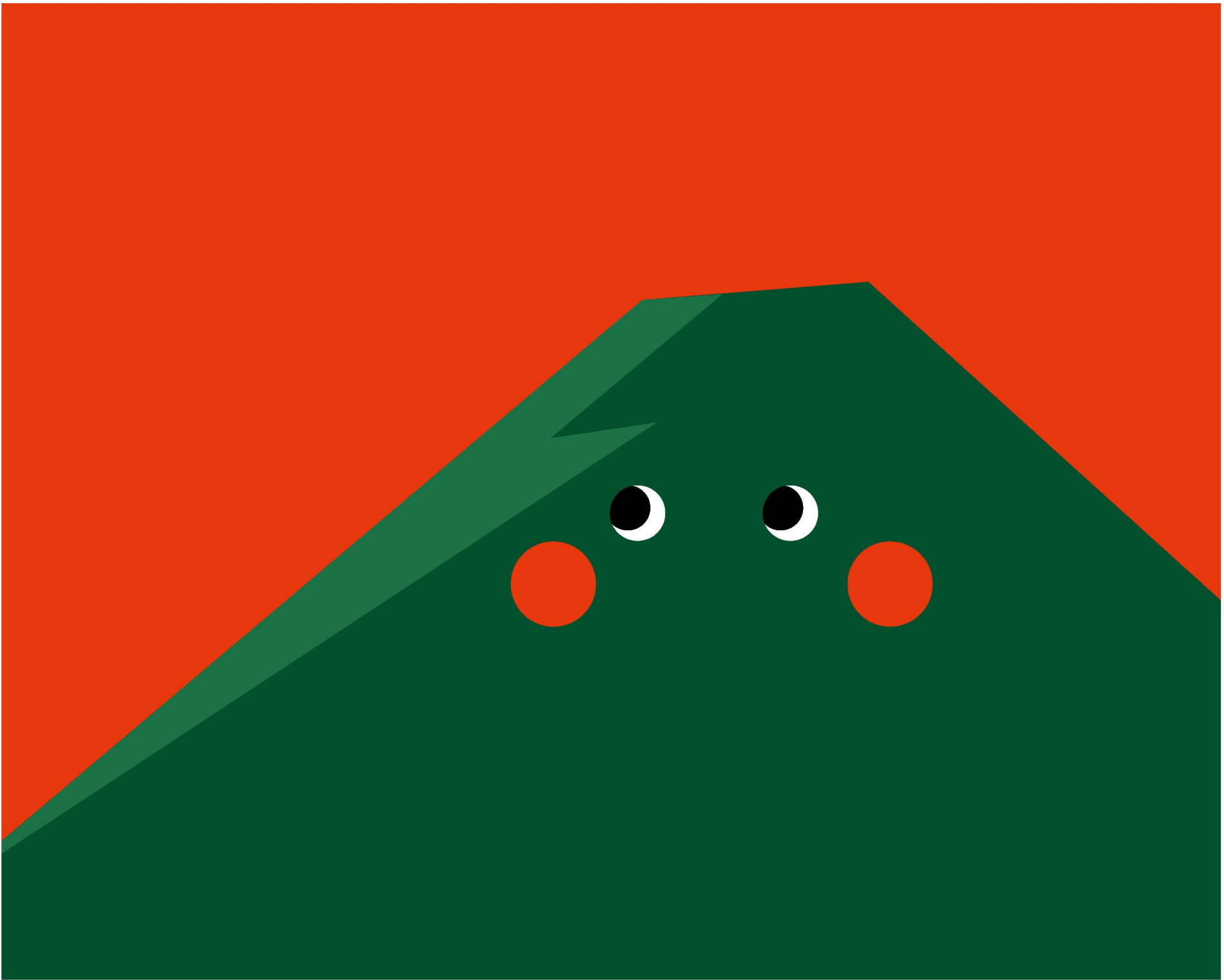
きんぼうさん「そうですよ きちんときめてください」

くまモン「うーん でも きょうりゅうのかせきがあったり うみがみえたり
どっちのも すごたのしかったんだモン
たのしいきもちに じゅんばんはつけられないモン
どっちもだいすきだモン！」

いいださんと きんぼうさんは かおをみあわせて
ほっぺたを ぽっと あかくそめました。

ぬく



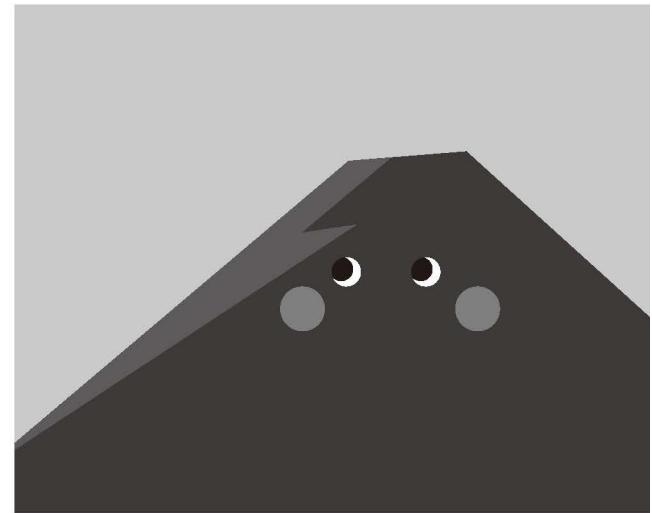


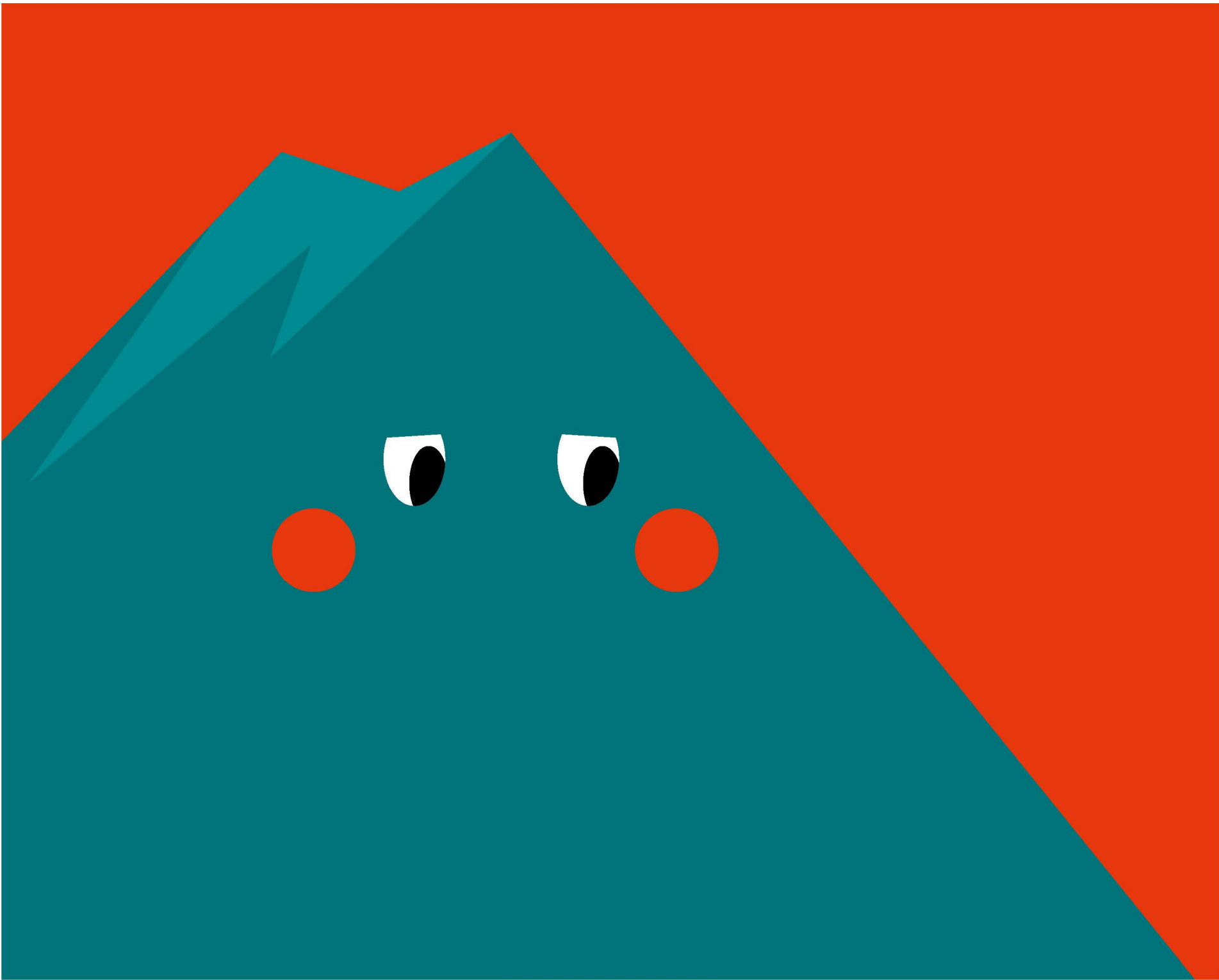
いいださん「ねえきいた？ くまモンが わたしたちのことだいすきだって」

きんぼうざん「ちょっとてれちやいますね でも うれしいです」

ぬく

8
/ 11





つぎのページと並べながら

いいださん「ねえ わたしたちは どうして あんなにけんかをしていたんだろう？」

きんぼうざん「うーん もしかすると ずっとふたりきりだったから
さびしくて けんかをしていたのかもしれないね」

いいださん「あのね…じつをいうと せがたかくておおきい きんぼうざんのこと
ずっとかっこいいっておもっていたんだ」

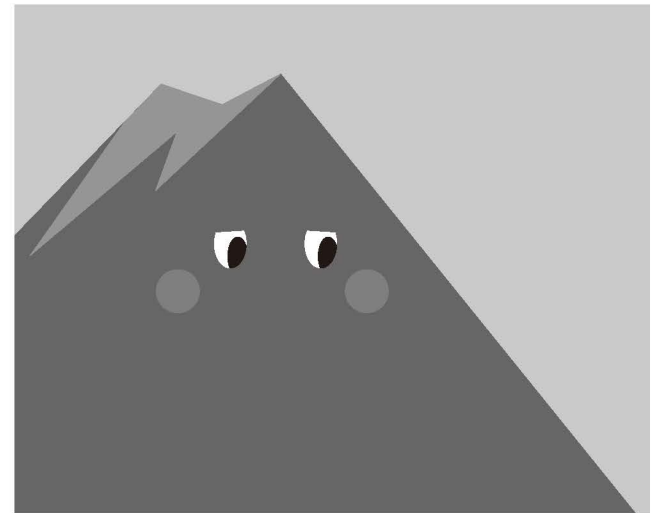
きんぼうざん「じつは…わたしも きれいなおはながさいている いいださんのことが
ずっとうらやましかったんです」

いいださん「なーんだ! じゃあ もう こんなけんかはやめよう!
ねえくまモン ちょっときいて! わたしたち なかなかおりましたよ!」

くまモン「ほんとうかモン？」

きんぼうざん「ほんとうですよ。
(まをあけて)
ほら なかよしですよ」

ぬく





ふたつのやまは なかなかのしるしに あくしゅをしました。
それをみた くまモンは

くまモン「わあ! よかったモン!

と ばんざいしました。

いいださん「ねえ くまモン またわたしたちに のぼってくれる?」

きんぼうざん「もうけんかはしませんから」

くまモン「もちろんだモン!

くまモンはおおきなこえで いいました。

くまモン「なかなかのしるしに みんなでおにぎりをたべるモン!

ぬく





くまモンといいださんとкинぼうさんは ならんでおにぎりを食べました。

それはそれは すばらしくおいしいおにぎりだったそうです。

おしまい。

